

畜産業における飛来・落下災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	8~9	新規農場の立ち上げ準備中、農場に出向いたところ、豚舎資材置場の横を通りかかった際に突風が吹き、パイプが落ちてきて首を直撃した。パイプ・・・自動給餌の餌ライン（餌の筒）、直径3.8cm。	33	1~9
5	15~16	草刈作業を行っている時に、落ちていた番線の破片が刃に当たって飛び上がり、足に当たり負傷した。	39	10~29
6	8~9	鶏舎入口で雛80羽を入れた専用台車をトラックから降す時、専用台車がバランスを崩し、また雨天のため車輪が滑り、被災者の足腰に当たってしまった。至急救急車で病院へ搬送された。	45	10~29
7	15~16	会社の敷地内において、刈払機で作業中、錆びた針金が飛んで来て、長靴を貫通して足に刺さった。	59	1~9
7	14~15	育成舎で、空になった豚房の水洗いをしていた。餌箱の中を洗うため、豚房の壁に立て掛けようとしたが、壁に届かず、左足甲に倒れてきて負傷した。	61	100~299
9	15~16	製造工場内で油槽の清掃中、誤って約1.3kgの部品を80cmの高さから患部に落とした、その時に足指が無防備なサンダルを履いていた。	62	30~49
10	16~	帰宅準備で工場内移動中、立てかけてあった削蹄棒部品を移動しようとしたところ、重量があり手が滑り、その部品が足の上に落ち、負傷する。	24	1~9

	17			
10	11 ～ 12	カーゴを洗っている際、右手でホースを持ち、左手で支えている時にバランスを崩してしまい、足にカーゴが倒れて足の指を骨折した。	59	10 ～ 29
10	14 ～ 15	鶏舎で、被災労働者が、鶏が足を痛めないように巣箱の中の金網に人工芝を敷いていた。敷いた人工芝がずれないようにインパクトドライバでビス止めし、次の巣箱に移動していたときに、手が滑って持っていたインパクトドライバを落としてしまった。落ちたはずみで電源が入り、ドライバのドリルが右足の甲の内側に長靴の上から刺さり負傷した。	59	100 ～ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html